

令和3年度  
文化芸術による  
子供育成総合事業  
—巡回公演事業—

バッハからベートーヴェンまで  
日本テレマン協会  
since1963

【オーケストラ公演】

# テレマン室内オーケストラ

## Telemann Chamber Orchestra



### 「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文化庁

# えんそうきよくもく 演奏曲目

## [1] J.S. バッハ：管弦楽組曲 第3番 二長調 第1楽章

バッハの代表作で、トランペットやティンパニが入った華やかな雰囲気曲です。当時流行していたフランス風の様式を取り、厳かな序奏と華やかな協奏曲風のフーガから成り立っています。

### 【弦楽器のお話】

## [2] 弦合奏 - J.S. バッハ：G線上のアリア

そのメロディーの美しさから後世まで愛され、様々な編成に編曲された、誰もが知る名曲です。正式には「管弦楽組曲第3番」の第2楽章「エア」といいます。最初に演奏した曲の続きにあたる曲です。

## [3] 【体験プログラム】クイズコーナー

## [4] ヴァイオリン - J. パッヘルベル：カノン 二長調

「カノン」は日本語では「輪唱」と言います。最初に演奏されたメロディーを、次の人が少し遅れて、その次の人も少し遅れて追いかけていくという作りになっています。有名な「かえるの歌」もカノンの一種です。

## [5] ヴィオラ - G.Ph. テレマン：ヴィオラ・ソナタ 変ロ長調 第2楽章

ヴィオラはヴァイオリンと見分けが付きにくいですが、ヴィオラの方が少しサイズが大きく、温かい音がします。この曲も実はカノンになっています。

## [6] チェロ・コントラバス - A. ヴィヴァルディ：チェロ・ソナタ 第6番 Preludio

低音を担当するチェロとコントラバスによるソナタ。落ち着いた響きがとても魅力的です。

## [7] 【体験プログラム】ヴァイオリンを弾いてみよう！ - J.S. バッハ：ガヴオット 長調

## [8] 【チェンバロのお話】 J.S. バッハ：インヴェンション 第1番 八長調

ピアノがハンマーで弦をたたくのにに対して、チェンバロは弦をはじいて音を出します。この曲はバッハがチェンバロの学習のために書いた曲です。右手のパートと左手のパートの対話をお楽しみ下さい。

## 【体験プログラム】バロックダンスのコーナー～ガヴオットを踊ってみよう！～

## [9] J.S. バッハ：管弦楽組曲 第3番 ガヴオット

## [10] G.Ph. テレマン：食卓の音楽 第2組曲より「終曲」

テレマンは、18世紀当時バッハを凌ぐ名声を誇り5000曲以上作曲したといわれています。当時の流行を取り入れ、「楽しさ」を重視した作風でした。この曲はテレマンの代表作「食卓の音楽」の中から、最も華やかな第2組曲の終曲です。

## - 休憩 -

### 【金管・打楽器のお話】

## [11] J.F. ファッシュ：3つのトランペット、2つのオーボエとヴァイオリンのための協奏曲 二長調 第1楽章

ファッシュはバッハやヘンデルと同時代に活躍した作曲家です。当時は大変人気のあった作曲家で、バッハもその作品を写譜したという逸話が残っています。この曲はトランペットとティンパニが活躍する華やかな曲です。

## [12] 【体験プログラム】指揮者体験コーナー - G.F. ヘンデル：「水上の音楽」 第二組曲 より ブーレ

### 【木管楽器のお話】

## [13] オーボエ、ファゴット - T. アルビノーニ：2つのオーボエのための協奏曲 第1楽章

アルビノーニは上品で美しい旋律が特徴とされるイタリアの作曲家です。2本のオーボエとファゴットが活躍します。

## [14] リコーダー - G.F. ヘンデル：リコーダー・ソナタ

## [15] G.Ph. テレマン：リコーダーとチェロのための協奏曲 第3楽章

皆さんが学校で習うリコーダーは、もともと鳥に歌を覚えさせるための楽器だったそうです。バロック時代には大流行し、ソナタや協奏曲もたくさん作られました。

## [16] 【歌のコーナー】 G.F. ヘンデル：オンブラ・マイ・フ

バロック・オペラを代表する歌劇「セルセ」の中の有名なアリアです。

## [17] 【体験プログラム】共演のコーナー

## [18] G.Ph. テレマン：3つのトランペットとティンパニのための協奏曲 二長調 TWV55:D3 第4楽章

トランペットとティンパニが活躍するとても華やかな曲です。最初に演奏したバッハの管弦楽組曲第3番と同じ編成ですが、厳格な書法にこだわったバッハと当時の流行を意識したテレマンの作風の違いを感じながら聴いてみて下さい。

# しゅつえんしゃ 出演者

し き たかまがりのぶかず  
指揮 / 高曲伸和  
むらたよしお  
リコーダー / 村田佳生  
うた しかい なかむらともこ  
歌・司会 / 中村朋子  
あさいさきの  
コンサートマスター / 浅井咲乃  
しつない  
テレマン室内オーケストラ

## おんがく なに バロック音楽って何??

「クラシック音楽」と一口に言っても、実はその中には「バロック」や「古典派」、「ロマン派」など、いくつかの種類があります。

「バロック音楽」は1600年頃から1750年頃までの時代に作られた音楽のことです。日本で言うと江戸時代の少し前から中頃までにあたります。代表的な作曲家はJ.S. バッハ、G.F. ヘンデル、A. ヴィヴァルディ、G.Ph. テレマンなどです。

当時は今と違い、コンサート用のホールではなく、教会や貴族のお屋敷で演奏されていました。どういった時に演奏されたかということ、教会の儀式

の時、貴族のパーティーや食事時などです。バッハやヴィヴァルディの作った音楽は、当時の人々の生活ととても深い関わりのあるものでした。

バロック時代より前は声楽(歌)が

主流でしたが、この時代にヴァイオリンやチェンバロといったたくさんの楽器が発達し、そのおかげで協奏曲やソナタといった器楽曲がたくさん生まれました。



きゆうてい えんそう いうす  
宮廷での演奏の様子

## がっき 楽器について

ヴァイオリンやチェロといった弦楽器はバロック時代に発達しました。木で出来た胴体には弦が4本張ってあります。弓には馬の尻尾の毛が張ってあり、そこに松脂を塗って、弦をこすって音を出します。ヴァイオリンが一番高い音を、チェロやコントラ

バスは低い音を、そしてヴィオラはその間の音を担当します。胴体の大きさはヴァイオリンが一番小さく、音が低い楽器になるにつれて胴体が大きくなります。

右の写真はチェンバロです。ピアノの先祖にあたる楽器です。よく見る

と今のピアノの鍵盤とは白い部分と黒い部分が逆ですね。ピアノは弦をハンマーでたたいて音を出しますが、チェンバロは弦をはじいて音を出します。今のピアノと同じ原理で音を出す楽器が登場したのは、バロック時代が終わってからです。



そく がっき  
ヴァイオリン属の楽器  
(ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス)



チェンバロ



チェンバロの鍵盤

# プロフィール

## ●指揮：高曲 伸和

大阪音楽大学で学んだ後、指揮とバロック音楽について日本テレマン協会音楽監督 延原武春のもとで学びました。バリトン歌手としても活動しており、日本テレマン協会の演奏会ではチマローザ作曲 歌劇「宮廷楽師長」などのソリストをつとめました。テレマン室内合唱団に所属しています。

## ●ソプラノ・司会：中村 朋子

テレマン室内合唱団のソリストとトレーナー。大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。主にバロック音楽や宗教音楽の分野でソリストとして活躍しています。これまでにバッハ作曲「マタイ受難曲」やヘンデル作曲「メサイア」、ベートーヴェン作曲「交響曲第9番」などでソリストをつとめました。

## ●ヴァイオリン：浅井 咲乃

テレマン室内オーケストラのコンサートマスター。ヴィヴァルディの「四季」が得意で、音楽雑誌でも「いま、もっとも聞きたい『四季』」という高い評価を得ました。東京での公演も「浅井咲乃は熱意にあふれた弓さばきで華々しいソロを弾きこなす」と報道されました（共同通信）。2012年の9月にはCDデビュー。大阪市浪速区の文化親善大使も務めています。

## ●リコーダー：村田 佳生

大阪音楽大学でバロック音楽の演奏習慣について学びました。その後東京の桐朋学園大学で2年勉強し、ヨーロッパへ留学。アムステルダム音楽院やユトレヒト音楽院でリコーダーを学び、美術館を巡るコンサートに出演もしました。2005年に帰国し、関西を拠点として演奏活動を行いながら、各地でリコーダーの指導も行っています。

## ●テレマン室内オーケストラ

テレマン室内オーケストラは1963年に結成された室内オーケストラで、出来てから50年以上が経ちます。室内オーケストラというのはふつうのオーケストラより人数が少ないオーケストラのことです。テレマン室内オーケストラはこれまでに多くの本邦初演を行ってきました。バッハやモーツァルトの時代には今と楽器の形が少し違っていたので、それぞれの時代に合わせた楽器を使って演奏したりもしています。これまでに「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」、「サントリー音楽賞」等を受賞しました。大阪では中央公会堂や大阪倶楽部という古い建物でコンサートを開催しています。そういったコンサートから指揮者高曲伸和をはじめ様々な奏者が生まれています。

## ●テレマンとは？

ゲオルク・フィリップ・テレマン——ドイツ人の作曲家の名前です。18世紀にはバッハ、ヘンデルも足元に及ばないほど高い評価を受けていたそうです。私たちはテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲する」という言葉に感銘を受け、彼の名をかかげたグループを結成しました。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集です。



## 知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です。～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会が、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることをしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度  
文化芸術による  
子供育成総合事業  
—巡回公演事業—

パッサハからベートーヴェンまで  
日本テレマン協会  
since1963

【オーケストラ公演】

# テレマン室内オーケストラ

## Telemann Chamber Orchestra



### 「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

# えんそうきよくもく 演奏曲目

## [1] J.S. バッハ：管弦楽組曲 第3番 二長調 第1楽章

バッハの代表作で、トランペットやティンパニが入った華やかな雰囲気曲です。当時流行していたフランス風の様式を取り、厳かな序奏と華やかな協奏曲風のフーガから成り立っています。

### 【弦楽器のお話】

## [2] 弦合奏 - J.S. バッハ：G線上のアリア

そのメロディーの美しさから後世まで愛され、様々な編成に編曲された、誰もが知る名曲です。正式には「管弦楽組曲第3番」の第2楽章「エア」といいます。最初に演奏した曲の続きにあたる曲です。

## [3] 【体験プログラム】クイズコーナー

## [4] ヴァイオリン - J. パッヘルベル：カノン 二長調

「カノン」は日本語では「輪唱」と言います。最初に演奏されたメロディーを、次の人が少し遅れて、その次の人も少し遅れて追いかけていくという作りになっています。有名な「かえるの歌」もカノンの一種です。

## [5] ヴィオラ - G.Ph. テレマン：ヴィオラ・ソナタ 変ロ長調 第2楽章

ヴィオラはヴァイオリンと見分けが付きにくいですが、ヴィオラの方が少しサイズが大きく、温かい音がします。この曲も実はカノンになっています。

## [6] チェロ・コントラバス - A. ヴィヴァルディ：チェロ・ソナタ 第6番 Preludio

低音を担当するチェロとコントラバスによるソナタ。落ち着いた響きがとても魅力的です。

## [7] 【体験プログラム】ヴァイオリンを弾いてみよう！ - J.S. バッハ：ガヴオット 長調

## [8] 【チェンバロのお話】 J.S. バッハ：インヴェンション 第1番 八長調

ピアノがハンマーで弦をたたくのに対して、チェンバロは弦をはじいて音を出します。この曲はバッハがチェンバロの学習のために書いた曲です。右手のパートと左手のパートの対話をお楽しみ下さい。

## 【体験プログラム】バロックダンスのコーナー～ガヴオットを踊ってみよう！～

## [9] J.S. バッハ：管弦楽組曲 第3番 ガヴオット

## [10] G.Ph. テレマン：食卓の音楽 第2組曲より「終曲」

テレマンは、18世紀当時バッハを凌ぐ名声を誇り5000曲以上作曲したといわれています。当時の流行を取り入れ、「楽しさ」を重視した作風でした。この曲はテレマンの代表作「食卓の音楽」の中から、最も華やかな第2組曲の終曲です。

## - 休憩 -

### 【金管・打楽器のお話】

## [11] J.F. ファッシュ：3つのトランペット、2つのオーボエとヴァイオリンのための協奏曲 二長調 第1楽章

ファッシュはバッハやヘンデルと同時代に活躍した作曲家です。当時は大変人気のあった作曲家で、バッハもその作品を写譜したという逸話が残っています。この曲はトランペットとティンパニが活躍する華やかな曲です。

## [12] 【体験プログラム】指揮者体験コーナー - G.F. ヘンデル：「水上の音楽」 第二組曲 より ブーレ

### 【木管楽器のお話】

## [13] オーボエ、ファゴット - T. アルビノーニ：2つのオーボエのための協奏曲 第1楽章

アルビノーニは上品で美しい旋律が特徴とされるイタリアの作曲家です。2本のオーボエとファゴットが活躍します。

## [14] リコーダー - G.F. ヘンデル：リコーダー・ソナタ

## [15] G.Ph. テレマン：リコーダーとチェロのための協奏曲 第3楽章

皆さんが学校で習うリコーダーは、もともと鳥に歌を覚えさせるための楽器だったそうです。バロック時代には大流行し、ソナタや協奏曲もたくさん作られました。

## [16] 【歌のコーナー】 G.F. ヘンデル：オンブラ・マイ・フ

バロック・オペラを代表する歌劇「セルセ」の中の有名なアリアです。

## [17] 【体験プログラム】共演のコーナー

## [18] G.Ph. テレマン：3つのトランペットとティンパニのための協奏曲 二長調 TWV55:D3 第4楽章

トランペットとティンパニが活躍するとても華やかな曲です。最初に演奏したバッハの管弦楽組曲第3番と同じ編成ですが、厳格な書法にこだわったバッハと当時の流行を意識したテレマンの作風の違いを感じながら聴いてみてください。

# しゅつえんしゃ 出演者

し き かん ゆんぐわん  
指揮 / 姜 隆光

りこーだー / 村田佳生  
うた しかい なかむらともこ

歌・司会 / 中村朋子

コンサートマスター / 浅井咲乃

テレマン室内オーケストラ

## おんがく なに バロック音楽って何??

「クラシック音楽」と一口に言っても、実はその中には「バロック」や「古典派」、「ロマン派」など、いくつかの種類があります。

「バロック音楽」は1600年頃から1750年頃までの時代に作られた音楽のことです。日本で言うと江戸時代の少し前から中頃までにあたります。代表的な作曲家はJ.S. バッハ、G.F. ヘンデル、A. ヴィヴァルディ、G.Ph. テレマンなどです。

当時は今と違い、コンサート用のホールではなく、教会や貴族のお屋敷で演奏されていました。どういった時に演奏されたかということ、教会の儀式

の時、貴族のパーティーや食事時などです。バッハやヴィヴァルディの作った音楽は、当時の人々の生活ととても深い関わりのあるものでした。

バロック時代より前は声楽(歌)が

主流でしたが、この時代にヴァイオリンやチェンバロといったたくさんの楽器が発達し、そのおかげで協奏曲やソナタといった器楽曲がたくさん生まれました。



きゆうてい えんそう しょうす  
宮廷での演奏の様子

## がっき 楽器について

ヴァイオリンやチェロといった弦楽器はバロック時代に発達しました。木で出来た胴体には弦が4本張ってあります。弓には馬の尻尾の毛が張ってあり、そこに松脂を塗って、弦をこすって音を出します。ヴァイオリンが一番高い音を、チェロやコントラ

バスは低い音を、そしてヴィオラはその間の音を担当します。胴体の大きさはヴァイオリンが一番小さく、音が低い楽器になるにつれて胴体が大きくなります。

右の写真はチェンバロです。ピアノの先祖にあたる楽器です。よく見る

と今のピアノの鍵盤とは白い部分と黒い部分が逆ですね。ピアノは弦をハンマーでたたいて音を出しますが、チェンバロは弦をはじいて音を出します。今のピアノと同じ原理で音を出す楽器が登場したのは、バロック時代が終わってからです。



そく がっき  
ヴァイオリン属の楽器  
(ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス)



チェンバロ



チェンバロの鍵盤

# プロフィール

## ●指揮：姜 隆光

テレマン室内オーケストラの首席ヴァイオラ奏者をつとめるかわら、同楽団指揮者・音楽監督延原武春のアシスタント・コンダクターをつとめています。世界的なバロック・ヴァイオリン奏者であるサイモン・スタンディジやウツラ・ブンディースらと共演してきたことで、18世紀当時の演奏習慣や奏法、解釈について深い知識を持っています。

## ●ソプラノ・司会：中村 朋子

テレマン室内合唱団のソリストとトレーナー。大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。主にバロック音楽や宗教音楽の分野でソリストとして活躍しています。これまでにバッハ作曲「マタイ受難曲」やヘンデル作曲「メサイア」、ベートーヴェン作曲「交響曲第9番」などでソリストをつとめました。

## ●ヴァイオリン：浅井 咲乃

テレマン室内オーケストラのコンサートマスター。ヴィヴァルディの「四季」が得意で、音楽雑誌でも「いま、もっとも聞きたい『四季』」という高い評価を得ました。東京での公演も「浅井咲乃は熱意にあふれた弓さばきで華々しいソロを弾きこなす」と報道されました（共同通信）。2012年の9月にはCDデビュー。大阪市浪速区の文化親善大使も務めています。

## ●リコーダー：村田 佳生

大阪音楽大学でバロック音楽の演奏習慣について学びました。その後東京の桐朋学園大学で2年勉強し、ヨーロッパへ留学。アムステルダム音楽院やユトレヒト音楽院でリコーダーを学び、美術館を巡るコンサートに出演もしました。2005年に帰国し、関西を拠点として演奏活動を行いながら、各地でリコーダーの指導も行っています。

## ●テレマン室内オーケストラ

テレマン室内オーケストラは1963年に結成された室内オーケストラで、出来てから50年以上が経ちます。室内オーケストラというのはふつうのオーケストラより人数が少ないオーケストラのことです。テレマン室内オーケストラはこれまでに多くの本邦初演を行ってきました。バッハやモーツァルトの時代には今と楽器の形が少し違っていたので、それぞれの時代に合わせた楽器を使って演奏したりもしています。これまでに「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」、「サントリー音楽賞」等を受賞しました。大阪では中央公会堂や大阪倶楽部という古い建物でコンサートを開催しています。そういったコンサートから指揮者高曲伸和をはじめ様々な奏者が生まれています。

## ●テレマンとは？

ゲオルク・フィリップ・テレマン——ドイツ人の作曲家の名前です。18世紀にはバッハ、ヘンデルも足元に及ばないほど高い評価を受けていたそうです。私たちはテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲する」という言葉に感銘を受け、彼の名をかかげたグループを結成しました。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集です。



## 知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です。～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会が、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることをしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。